

未来を開く 西武信用金庫 >4< 支店長に聞く

月2回のペース
で掲載します

国や都の制度に関する情報提供や活用支援など強化

檜原支店

当支店は、東京・八王子市檜原町を中心に、宮下町、中野町、八王子インターチェンジ、高尾駅周辺までを営業エリアにしています。顧客は個人層が多いのが特徴で、このため貸出先も住宅ローンを中心に個人層が過半数を占めています。顧客の中には、高齢者も多く年金相談も多くあります。支店開設から35年以上がたち、付き合いの長い取引先が多くのイン化率も高いです。

営業エリア全体を見ると個人マーケット色が強いですが、マンションも含めて高層建物が少ない一方で、病院・福祉施設、外食産業、カーディーラー、スーパー、コンビニエンスストアなどの生活イ

ンフラは整備されており、また、創価大学や工学院大学のキャンパス、賃貸アパート、中小製造業なども混在し、バランスのとれたマーケットであることから、特定の業界・業種に特化することなく、まんべんなくコツコツと地道な営業活動を展開しています。学生は学校周辺よりも利便性の良い駅近くで賃貸物件を借りることが多くなっており、大学とハイブがある不動産管理事業者の仲介なども行っています。

事業支援案件では、補助金申請のサポートをはじめ、営業力や事業承継をテーマにした専門家派遣、賃貸物件の空室対策、遊休資産の売却などが多くなってい

ます。国の「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」（通称・ものづくり補助金）については内容拡充を図り、自動車整備事業者への支援を実施して採択されました。

ものづくり補助金だけでなく、ハードルは高いものの採択されれば大きなビジネスチャンスにつながる国や都の制度についての情報提供や活用支援なども強化しています。こうしたハードルが高く採択数の少ない補助金制度へのエントリーや獲得に向けて「首都圏産業活性化協会」（通称・TAMA産業活性化協会）やTAMA-TLOとの連携コーディネートも行っています。

高垣
浩司
支店長



東京都八王子市檜原町629-1
☎042・626・7911



シルバーブレスジ

東京・八王子市と日野市で4カ所の有料老人ホームを運営している。昨年30周年を迎えた。今年4月には雑誌の「老人ホームランキング」で、「シルバーブレスジ日野」が東京都の介護型482施設の中で2年連続1位に輝いた。4カ所あわせ入居者数約300人。入居率は95%以上を誇っており、開業以来、黒字経営を続けている。「笑顔とまごころで、ゆったりと安心の毎日を」をモットーに、接遇に力を入れており、また、職員の離職率が低い

ことが大きな信用を得ている。ケアマネジャーや介護福祉士の資格取得者には報奨金などが支給される。

開業からの「シルバーブレスジ八王子」が施設老朽化などで現在の場所に移転。西武信用金庫が建築業者の紹介と新施設建設資金の融資を担当した。また、経営基盤の強化に向けて給与モデルの構築などでも協力してもらっている。

▷東京都八王子市曙町1-47-1
▷代表取締役会長 石井征二氏写真
☎042・627・0432

<取引先紹介>

カーエアコンコンプレッサー部品を主体に、複写機やプリンターのシャフト、血液分析機器などの精密部品切削加工を手掛けている。大手メーカーの海外展開で同業他社が海外進出する中、海外製の低価格品に対抗するために事業構造改革を進めている。その一つが、これまでの少品種多量生産から多品種少量生産への転換。少量ながら受注する製品の品種が広がれば加工も多くなれば、収益向上に寄与するため。現在、営業部門は多品種のセットメーカーへの新規開拓に

信濃精機製作所



力を入れており、製造部門はこれまでに経験したことのない部材や少ない材質の加工にチャレンジしている。

創業後の厳しい時期に事業支援を受けたのを機に西武信用金庫との取引がスタートした。今回の事業改革を進めるにあたり、新たな設備導入に向けた補助金申請で専門家派遣のサポートを受けた。▷本社＝東京都八王子市下馬町308-24
▷代表取締役社長 倉田隆氏写真
☎042・652・1501

<西武信用金庫>
◎創業＝1939年 ◎店舗数＝本店を含め72店舗 ◎従業員数＝1164人
◎貸付総額＝1兆2500億円 ◎預金総額＝1兆6436億円(2016年3月末現在)

長岡支店

支店間協力などで事業者のマッチング積極サポート



伊藤
茂樹
支店長

東京都瑞穂町長岡2-3-1
☎042・557・2212

東京・瑞穂町を中心に、羽村市と青梅市の一部と埼玉県入間市との境界までが営業エリアです。ただ、そのうち約4分の1は市街化調整区域で一部に農業振興地域の指定もあり土地利用に制限が設けられています。

支店がある瑞穂町長岡という地区と隣接する羽村市には工場が多く集積していますが、当支店取引先の企業は中小規模が多く従業員30人未満、年商5億円未満が約8割を占めています。企業が多い地域のため貸出金の構成は、約4割が製造業で不動産賃貸業が1割未満となっており、当金庫全体で見た場合の構成と大きく異なっているのが特徴です。

事業支援としては各種補助金申請に関する専門家派遣が多く、最近数年の平均採択率は約7割となっています。専門家の派遣による申請書類のアドバイスとともに、どういった補助金があるか、その場合は何をいつまでに提出するかなど、情報の早さで他行との差別化を図っています。

また、事業者のマッチングも積極的にサポートしており、電力料金を削減するノウハウを持つ会社と金型製造業、経費の総合的な見直しによる経費削減策を提案する企業と介護施設のマッチングなどを実現しました。金型製造業と介護施設はいずれも当支店の顧客ですが、マッチ

ング相手は他支店の取引先です。顧客にとって課題解決に役立つことであれば、支店間協力も積極的に進めています。

営業エリア内の製造業は優秀な技術も持っているものの、受注ロットの減少や納期の短縮への対応が課題になっています。このため、補助金活用による高効率設備の導入での対応を支援しています。また、人材の確保も大きな課題で、東京工科大学が実施している就業体験（コーオプ実習）への紹介も行っています。製造業を中心とした課題解決型の営業を推進していますが、今後も新規取引先の開拓やメイン取引先の増加に力を注いでいきます。



サンテック

ダイシングソーという切断機械を使って半導体用シリコンや光学ガラスなど、金属素材以外のダイシング加工を主事業としている。このほか、切削や研磨加工、試作・開発・研究用少量品の製作受託も行っている。これまでの経験とノウハウから、加工品と切断機械に使う砥石、ダイシング用テープの最適な組み合わせによって高品質加工を実現している。

創業以来、「一切こたわることはない」という考えのもと、ウエハー1枚、

チップ1個からでも受注するなど、「切る」スペシャリストとしてあらゆるニーズに対応。最近では、型抜きが一般的だったシートはんだのダイシング加工も手掛ける。設備投資や研究開発に関する補助金申請で西武信用金庫から専門家を派遣してもらった。また、売り上げ減少への対応などで経営技術士による経営相談・技術相談でのサポートも受けた。

▷東京都瑞穂町長岡2-1-10
▷代表取締役社長 日野榮一氏写真
☎042・557・7744

<取引先紹介>

医療機器やATM（現金自動預払機）、インクジェットプリンター用部品の精密板金加工が主力。中国の深圳市や蘇州市にも工場を所有している。1959年に東京・三鷹市で創業し、82年に現在の瑞穂町長岡に工場を新設、本社も移転した。現在、生産性改善活動を進めており、これまで手動だった一部工程へのロボット導入などを計画している。また、人材の確保にも力を入れており、新卒・中途の採用を積極的に進めている。

大手の海外進出に伴い、国内での受注

富山



が減少して売り上げが急激に落ち込んだ時期に、融資などを合わせて西武信用金庫から支援を受けた。以来、20年以上の取引があり、昨年は補助金申請での専門家派遣などによって加工機や板金機の導入が実現した。来月10月のISO（国際標準化機構）9000シリーズ（品質マネジメントシステム）取得に向けたサポートも受けている。

▷東京都瑞穂町長岡2-2-2
▷代表取締役 富山昌彦氏写真
☎042・556・3990